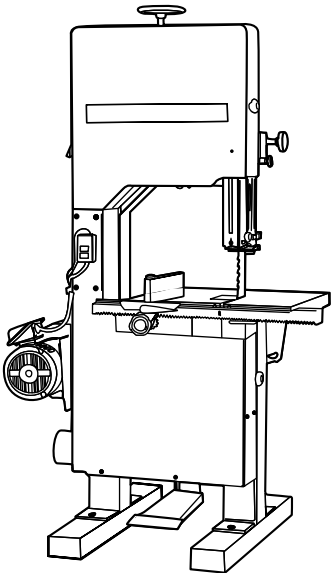
RYOBI

バンドソー

BS-401N
BS-401B

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



もくじ

- 安全上のご注意 …… 1～4
- 各部の名称・仕様 …… 5
- 付属品・用途・別販売品 …… 6
- 操作方法 …… 6～13
- 保守と点検 …… 14

6983978

このたびは、リョービバンドソーをお買上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

注意文の「⚠ 警告」、「⚠ 注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠警告」と「⚠ 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

「⚠警告」・「⚠ 注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警　告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
   - ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
   - 機械は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
   - 作業場は十分に明るくしてください。
   - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
   - 転倒事故を防止するため、機械周辺の床には物を置かないでください。
   - 機械周辺の床は常に水や油で濡れていないようにしてください。水や油をこぼした場合は、直ちに拭き取ってください。
3. 電気工事は自分で行なわないでください。
   - 電源の誤配線による重傷事故を避けるために、電気工事については電気工事士の免許のある方が必ず行なってください。
4. 子供を近づけないでください。
   - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
5. 無理に使用せず作業に合った機械を使用してください。
   - 安全に能率よく作業するために、指定された用途以外に使用せず、機械の能力に合った速さで作業してください。

6. きちんとした服装で作業してください。
   ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれる恐れがありますので着用しないでください。
   ・手袋は刃物の交換の際に使用する以外は回転部に巻込まれる恐れがありますので絶対に使用しないでください。
   ・屋外での作業の場合には、滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
   ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 保護めがねを使用してください。
   ・作業時は、保護めがねを使用してください。また粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
8. コードを乱暴に扱わないでください。
   ・コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
   ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
9. 無理な姿勢で作業をしないでください。
   ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
10. 機械は、注意深く手入れをしてください。
   ・安全に能率よく作業をしていただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
   ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
   ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
   ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
   ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスがつかないようにしてください。
   ・機械の可動部分との接触による重傷事故を避けるために、部品交換の際には電源プラグを外し、かつ元スイッチを「切り」の状態にしてください。
   (注)元スイッチとは建物に取付けてある電源スイッチのことで、起動スイッチのことではありません。
11. 次の場合は、元スイッチを「切る」の状態にするか、プラグを電源から抜いてください。
   ・使用しない、または保守、点検、修理する場合。
   ・刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
   ・清掃する場合。
   ・機械の故障、異常に対処する場合。
   ・その他危険が予想される場合。
   (注)元スイッチとは建物に取付けてある電源スイッチのことで、起動スイッチのことではありません。
12. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
   ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。

⚠ 警　告

13. 不意な始動は避けてください。
- **元スイッチを「入る」にする前に、機械のスイッチが切れていることを確かめてください。**

14. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
- **機械を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して慎重に作業してください。**
- **疲れている場合は、使用しないでください。**

15. 損傷した部品がないか点検してください。
- **使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。**
- **可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。**
- **損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。**
- **スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。**

16. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
- **本取扱説明書およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。**

17. 機械の修理は、専門店に依頼してください。
- **本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。**
- **修理は、必ずお買上げの販売店またはリョービ販売営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。**

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

バンドソーご使用に際して

先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、バンドソーをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

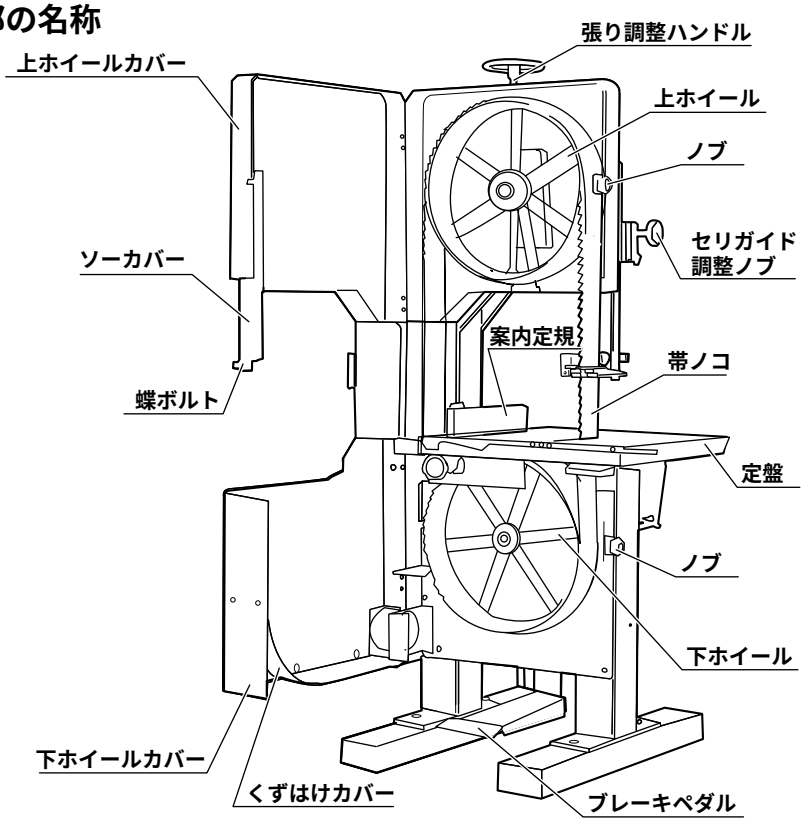
1.電圧は、銘板の表示と一致しているか必ず確認してください。
- **100V用のモーターを200Vで使用されますとモーターが焼損するのみでなく、高速回転となり、けがの原因となります。逆に200V用モーターを100Vで使用しますと力不足となります。**

2. （3相.200V電源仕様の場合）
   ・機械設置後、ご使用前に、刃物類が正しい方向（カバーなどの矢印方向）に回転しているか確認してください。逆回転していますと、ねじのゆるみや部分損傷によるけがの原因になります。
   ※万一逆回転する場合は、電気工事士の資格を持つ方にご相談のうえ、正しい回転方向でご使用ください。
3. 運転中は、帯ノコおよび可動部には絶対手を触れないでください。
   ・けがの原因になります。
4. ソーカバーは、身体が帯ノコに触れるのを防ぐものです。必ず正しく取付けてご使用ください。
   ・帯ノコが露出しますと、けがの原因になります。
5. 材料に釘などの異物がないことを確認してください。
   ・異物があれば帯ノコを破損することがあり、けがの原因になります。
6. 使用中は、材料を確実に保持してください。
   ・確実に保持していないと材料が落ち、けがの原因になります。
7. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店、またはリョービ販売営業所に点検・修理を依頼してください。
   ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
8. 帯ノコは適正な緊張でご使用ください。
   ・過度の緊張は帯ノコの寿命を縮めます。また、ゆる過ぎると帯ノコの飛び出しの原因となります。
9. 帯ノコ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
   ・帯ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
10. 切断しようとする材料の前に手を置いたりしないでください。
   ・手を切ったりする恐れがあります。

⚠ 注　意

1. 刃物類（帯ノコなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
   ・確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手など巻込まれる恐れのある手袋を着用しないでください。
   ・回転部に巻込まれ、けがの原因になります。
3. 作業前に、帯ノコ刃を空転させ、機体の振動や帯ノコ刃の面振れなどの異常がないことを確認してください。
   ・異常があるとけがの原因になります。
4. 能力を超えた作業は事故のもとです。帯ノコは常に良い切れ味にしておき、回転数を上げた後、加工を始めてください。
   ・安全で能率よく、きれいな仕上面が得られます。

■各部の名称



■仕様

モデル	BS-401N	BS-401B
電源	単相・100V	三相・200V
電流	15A	6.8A(50Hz) 6.0A(60Hz)
消費電力	1,450W	1.5KW（出力）
ホイール径	405mm	
無負荷回転数	(n_0)930min.$^{-1}$	(n_0)730min.$^{-1}$(50Hz) (n_0)875min.$^{-1}$(60Hz)
帯ノコ寸法	76 × 2,850mm	
最大切断厚さ	320mm	
ふところ寸法	380mm	
定盤寸法	470 × 450mm	
機体寸法 (高さ×幅×奥行)	1,600 × 990 × 750mm	1,600 × 1,065 × 750mm
質量	140kg	150kg

■付属品

- 帯ノコ（半刃ステライト）
  （76×2,850mm） ····· 1（本体取付）
- 案内定規 ····· 1（本体取付）
- 両口スパナ（17×19mm） ····· 1
- 両口スパナ（10×13mm） ····· 1
- 工具箱 ····· 1

■用途

- 各種木材の切断

■別販売品

- 帯ノコ（全刃ステライト） 76×2,850mm
- 帯ノコ（半刃ステライト） 51×2,850mm
- 帯ノコ（バチ目） 51×2,850mm
- 帯ノコ（組アサリ） 51×2,850mm
- 帯ノコ（組アサリ） 25×2,850mm
- 帯ノコ（組アサリ） 19×2,850mm
- 帯ノコ（組アサリ） 16×2,850mm
- 帯ノコ（組アサリ） 13×2,850mm
- 帯ノコ（プラスチック用） 6 ×2,850mm
- 帯ノコ（プラスチック用） 13×2,850mm

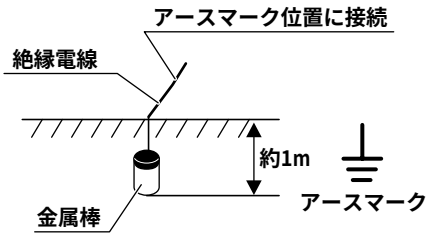
■操作方法

●漏電しゃ断器について(BS-401N)

- ご使用前に、本機が接続される電源に感電防止用漏電しゃ断装置（漏電しゃ断器）が設置されていることを確認してください。定格感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下の電流動作型の市販品の漏電しゃ断器をご使用ください。
  （労働安全衛生規則第333条、第334条.電気設備の技術基準第18条、第28条、第41条）

●アースについて(BS-401N)

- 本機を使用する時は、感電事故を防止するため、必ず本体フレームのアースマーク位置（モーター取付部の下）に1.6mm以上の絶縁電線（直径15mm以上の金属棒付）をビスで固定した後、金属棒を接地します。
- 接地（アース）工事は電気工事工の資格が必要ですので最寄りの電気工事店にご相談ください。

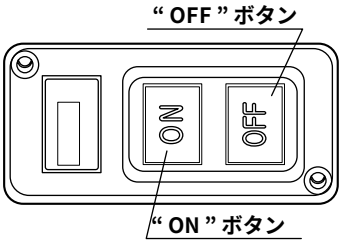


●スイッチ

⚠ 警　告

・電圧は、銘板の表示と一致しているか必ず確認してください。100V用のモーターを200Vで使用されますと、モーターが焼損するのみでなく高速回転となり、けがの原因となります。逆に200V用のモーターを100Vで使用しますと、力不足となります。

・スイッチは押ボタン式です。“ ON ”ボタン（黒色）で作動し“ OFF ”ボタン（赤色）で停止します。



●ノコ刃の交換

⚠ 警　告

・ノコ刃交換の際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動による、けがの原因になります。

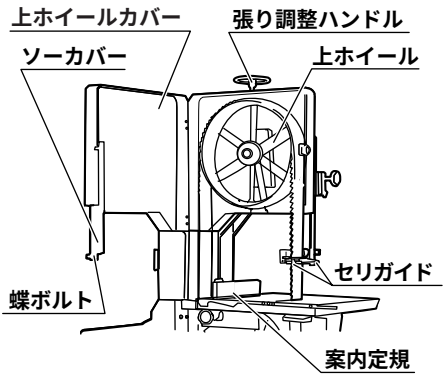
・上下のホイールカバーを開きます。下ホイールカバーは、下ホイールカバー側面のノブをゆるめることによって開くことができますが、上ホイールカバーを開く時は、上ホイールカバー側面のノブをゆるめるとともに、ソーカバーとセリガイドを締付け固定している蝶ボルトを外してください。

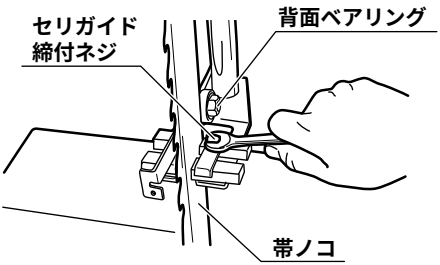
（注）蝶ボルトを外し、上ホイールカバーを開く時は、ソーカバーを手で保持してください。上ホイールカバーとソーカバーは固定されておりませんので、ソーカバーがすべり落ちます。

・定盤上側下側のセリガイド締付ネジをゆるめます。

・張り調整ハンドルを回し（右回転）帯ノコの張りをゆるめて取外します。

・帯ノコの取付けは下側ホイールから行ないます。





●帯ノコの張り調整

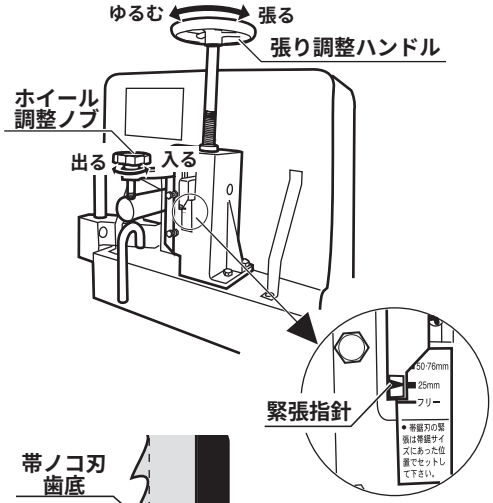
⚠ 警　告

- **帯ノコの調整の際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動による、けがの原因になります。**
- **帯ノコ刃は適正な緊張でご使用ください。過度の緊張は帯ノコの寿命を縮めます。また、ゆる過ぎると帯ノコの飛び出しの原因となります。**

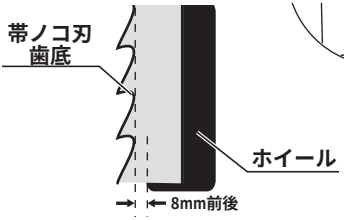
⚠ 注　意

- **刃物類（帯ノコなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実でないと外れたりし、けがの原因になります。**

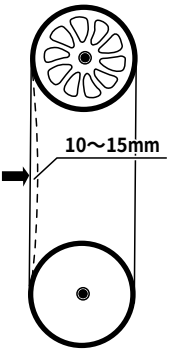
- **張り調整ハンドルを回して、緊張指針を帯ノコ刃のサイズにあった位置にセットし、帯ノコ刃の張り調整をします。**



- **次に上下ホイール側面と帯ノコの歯底までの間隔を約8mm位になるよう調節します。**
- **調節はホイールを手で回転させながらホイール調整ノブにより調節します。**

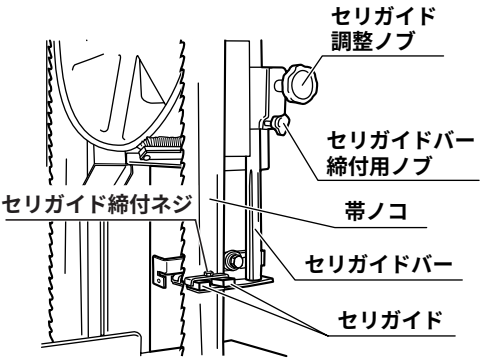


- **帯ノコの最適な張り具合は帯ノコを指で軽くカバープレートの方に押した時10～15mmの伸び程度に調節してください。**



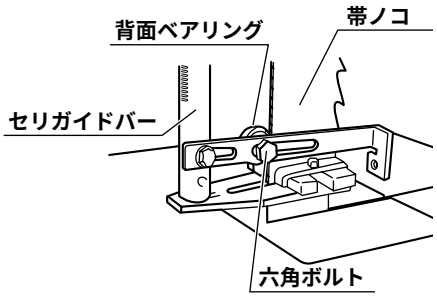
●セリガイドの調節

・セリガイドの調節の良否が挽材の切断能率を左右しますので必ず作業前に調節してください。
・まず向って左側セリガイドから行ないます。帯ノコとセリガイドのすきまはハガキ１枚の厚さ程度に調節し、セリガイド締付ネジを締付け固定します。次に右側セリガイドも同様に固定します。
・セリガイドバー締付用ノブをゆるめ、セリガイド調節ノブを回して材料の高さに応じた高さにセリガイドを調節します。セリガイド調節の後、必ず締付用ノブを締めてください。



●帯ノコ背面ベアリングの調節

・帯ノコ背面ベアリングと帯ノコとの間は約2～3mm程度の間隔に調節して六角ボルトで固定してください。



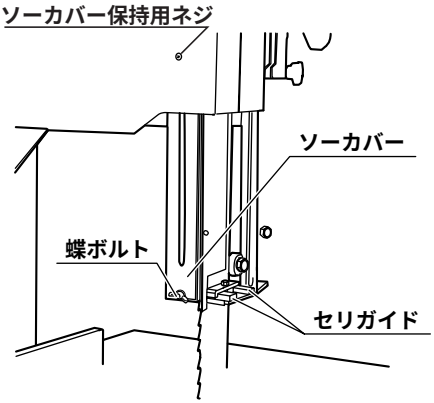
●25mm以下帯ノコ刃（別販売品）の取付け

・別販売品の幅25mm以下の帯ノコ刃を使用する際は、下記のことに気をつけてください。
1.上ホイールの中央部に帯ノコ刃が位置するように、上ホイールを後方に少し傾けます。帯ノコ刃が前に出ない程度にしてください。
2.セリガイドが帯ノコ刃部に当たらないように調節してください。
3.背面ベアリングを帯ノコ刃の後方に当てるようにしてください。
上ホイールを手で回して帯ノコ刃が前に出ないことと、背面ベアリングがなめらかに回転することを確認してからスイッチを入れてください。

●ソーカバーについて

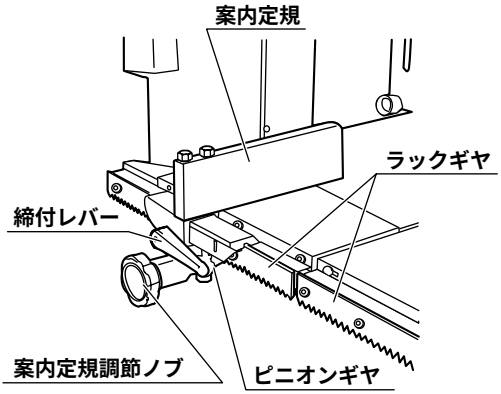
- 薄い板材を加工する場合など、帯ノコが必要以上に露出しないようソーカバーを下げて安全作業を行なってください。
- ソーカバーはセリガイドの昇降に合わせて上下する構造になっておりますので、ソーカバーをセリガイドに固定している蝶ボルトはしっかりと締付けておいてください。

（注）上ホイールカバーにソーカバーを取付けておりますソーカバー保持用ネジは出荷時に調整しておりますので、ゆるめたり、外したり又締込んだりしないでください。



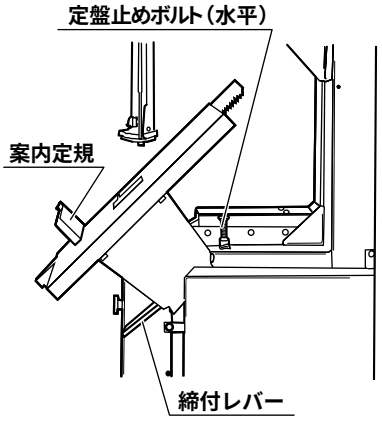
●案内定規の調節

- 案内定規は帯ノコと平行にセットしてください。
- 案内定規は締付レバーをゆるめ、案内定規調節ノブを回すと簡単に動かせます。
- 案内定規調節ノブを右に回すと案内定規は左方向に移動し、左に回すと右方向に移動します。



●傾斜角度（0°～45°）

- 傾斜切断をするときは締付レバーを回してゆるめますと簡単に傾斜調節ができます。
- 加工の場合は案内定規を帯ノコの外側にセットして加工を行ないます。

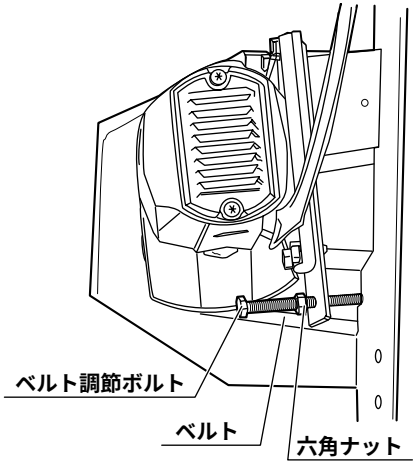


●ベルトの張り調節

⚠ 警　告

・ベルトの張り調整を行なう際は、スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動による、けがの原因になります。

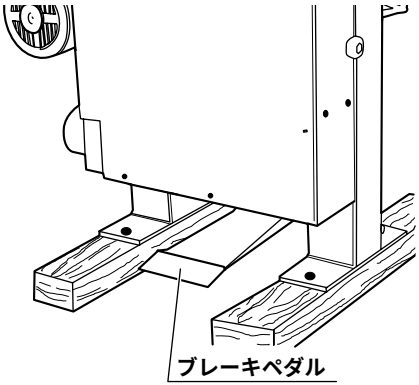
・ベルト調節ボルトを固定している六角ナットをゆるめ、ベルト調節ボルトをスパナで回して調節を行ないます。



●フットペダル式ブレーキ

・ご使用後回転を停止する時は、起動スイッチをOFFにした後、軽くブレーキペダルを踏んで回転を止めてください。

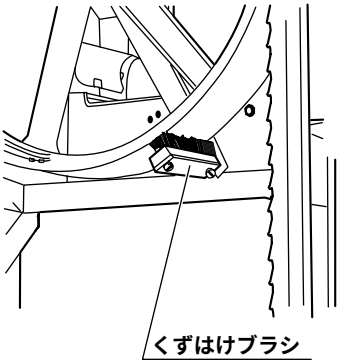
（注）緊急の場合を除き、急ブレーキは絶対にさけてください。



●くずはけブラシ

・ホイール面にオガくずが付着しないようくずはけブラシを設けておりますが、時々帯ノコをはずしてホイール面上のオガくずを取払ってください。

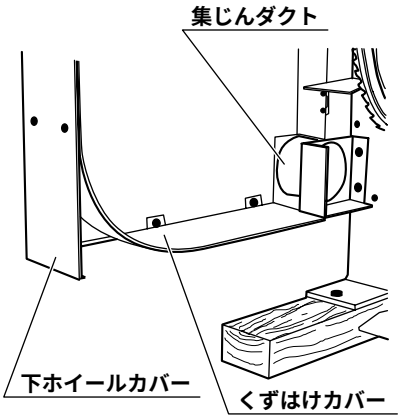
（注）ホイール面と帯ノコの間にオガくずが入ると帯ノコに無理な力がかかり亀裂を生じることが有ります。



●集じん

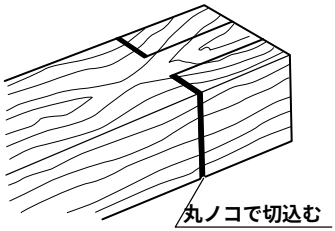
・作業時、集じんダクトに集じん機を接続してご使用になりますと、ホコリの少ない作業ができます。

（注）集じん機を接続しない場合、くずはけカバーを取外し、ノコくずを下に出すようにしてください。くずはけカバーは、ビスをはずすことにより簡単に取外せます。



●加工

・ホゾを作る時は木材の両側面を電気丸ノコなどで先に切込んでおきますと切削中木材による締りがなく、楽に加工できます。

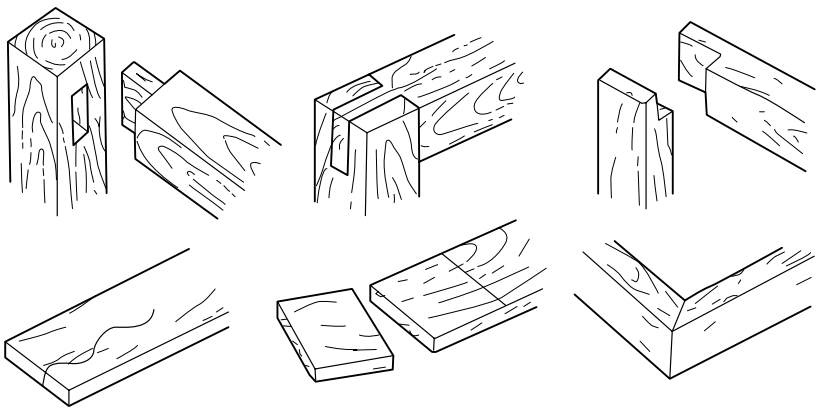


・曲線加工は特別付属品の25mm（幅）以下の帯ノコを取付け、上下のセリガイドは左右各1ヶで帯ノコをはさみ、加工材をお望みの曲線に動かして加工します。

（注）長尺物の切断、重い木材のホゾ取りには補足ローラーをご使用ください。

（注）材料を急激にあてないようまた切りはじめましたら前方へゆっくり押して加工してください。

加工例



●挽曲りの種類、原因、処理

・ガイド調節が正しくても挽曲りの原因が帯ノコによる場合、または挽材操作による場合、挽材の性質などによる場合などが考えられます。能率的に作業をするにはその原因を確かめ適切な処置をすることが大切です。

状　態	原　因	処　置
鼻 曲 り	ホイール面にオガ屑の付着が過大。 帯ノコの出が過大。 切込み操作不良。	オガ屑をとり払う。 ホイール調節ノブにより直す。 切り始めはゆっくり。
元 曲 り	腰入れ、背盛量の不足。 ノコ厚に対してアサリが小さい場合。	帯ノコの仕上げ。 目立て直しをする。
小 曲 り 大 曲 り	帯ノコの切れ味低下。オガ屑のはけ悪い。 送材速度が早い場合。 セリを下げずに挽いた場合。	目立て直しをする。 挽材に合った速度（堅い物はゆっくり） セリガイド部分を下げる。
弧状曲り	曲り材及びアテ材を挽いた場合。 アサリが片よっている場合。（組アサリ）	帯ノコと定規を平行にする。 砥石にて直す。
歩 む ら	挽材速度が一定でない。 挽材の保持がしっかりしていない挽曲りをおこした時	挽材速度は出来るだけ一定にする。 補助ローラーなどを定盤の高さに設けて作業を楽にする。

■保守と点検

⚠ 警 告

・保守、点検、部品交換などのお手入れの前にスイッチを切り、電源プラグを必ず電源コンセントから抜いてください。けがや感電の原因になります。

●各部取付けネジの点検

・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

●使用後の手入れ

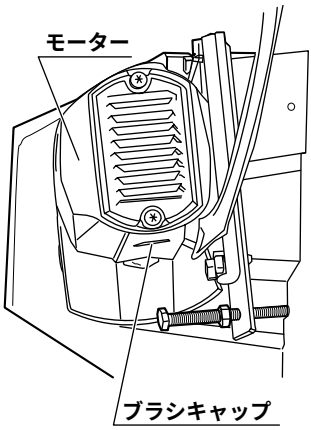
・注油は定期的に行なってください。（週1回程度）
・油汚れなどをふき取り使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体を拭いてください。
・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。
・作業が終わりましたら、帯ノコをゆるめて必ず軽油か灯油を塗って、サビないように注意してください。サビたり、割れの入った帯ノコは使用しないでください。

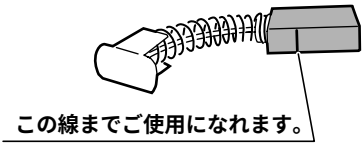
●作業後の保管

・高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下の恐れのあるところはさけてください。

●カーボンブラシについて（BS-401N）

・カーボンブラシは消耗品です。全長の1/3（線の入った位置）程度に摩耗しましたら、新しいカーボンブラシと交換してください。短くなったカーボンブラシをそのまま使用しますと、モーター焼損の原因となる場合があります。
・カーボンブラシの交換はブラシキャップを⊕ドライバで取外せば簡単に行なえます。
・カーボンブラシは2個1セットです。交換されるときは指定のカーボンブラシを使用し、2個とも交換してください。





●修理について

・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買上げの販売店にご用命ください。
その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

本社　〒468-8512
名古屋市天白区久方1-145-1
TEL.(052)806-5111 FAX.(052)806-5141